

第2次松戸市地域福祉計画(案)についての意見と市の考え方

No.	意見の趣旨	件数	市の考え方	(案)の修正
1	地域で行われている福祉ボランティア活動の実態、団体の補足、必要に応じ協働や支援により活動の強化拡張となる施策を積極的に進めると明文化して頂きたい。	1	基本目標3「1 ボランティア活動への支援、NPO活動への支援」の中で触れていますが、地域のボランティアが展開している地域福祉活動が地域に理解され定着すること、また、様々な主体がお互いの強み、弱みを補完し合うことが求められています。 市社会福祉協議会の「ボランティアセンター」では、ボランティアに関心のある市民とボランティアを必要としている人や福祉施設をつなげる支援、各種ボランティア講座の開催等を行い、ボランティア活動への支援を行っているとしています。 (計画書p.72)	なし
2	45～47ページでの災害時要援護者対策に関連した文言に、緊急性を持って取り掛かる事業とすることを明文化して頂きたい。	1	基本目標1「6地域での防災・災害時要援護者対策」の施策の方向性の中で、「災害時要援護者避難支援体制の推進」の本文中に、「松戸市災害時要援護者登録台帳への登録を、緊急性を持って、今後全市的に拡大していきます。」としました。 (計画書p.45)	あり
3	重点項目は3つの文節から構成されています。場所によって文節の構成数が異なっているため、文節数は統一すべきである。	1	文節の構成数を3文節「地域での支え合い活動の推進～孤立させない地域づくり～《声かけ・見守りの推進》」に統一し修正しました。 (目次、計画書p.23,29,76)	あり
4	重点項目と同様に(推進項目という言葉)併記すべきである。	1	ご意見を踏まえ、重点項目と同様、4つの推進項目についてもそれぞれの項目の見出しに「推進項目」と記載しました。 (計画書p.45,65,76,83,96)	あり
5	(市のホームページ上)ページ数を記載すべきである。	1	市の公式ホームページに掲載している計画書にページ数を記載しました。	あり
6	「7 施策の体系」と「8 第2次松戸市地域福祉計画の重点項目」の順序を入れ替える。	1	第1章の中の「7 施策の体系」と「8 第2次松戸市地域福祉計画の重点項目」については、推進委員会・計画見直し専門部会の中で協議した結果、施策の体系の全体像の後に重点項目・推進項目を示す、となりました。 (計画書p.22～31)	なし
7	第6章の最後のページに、「重点項目と推進項目の定期的な報告と推進委員会のフォローの実施」を明記する。(重点項目と推進項目の強調のため)	1	第6章「4 計画の進捗管理」の中で、重点項目と推進項目の強調のため「進捗管理では、重点項目・推進項目を含め、定期的に関連事業・取り組みを実施している関係部署に進捗状況、課題、今後の方向性について把握し、推進委員会で報告し計画の推進に努めます。」としました。 (計画書p.111)	あり
8	行政方の福祉に対する態度の教育実施を入れることを強く望む。	1	貴重なご意見として承るとともに、関連部署にも伝えさせていただきました。	なし
9	どこが中心になって地域の住民組織や団体、また福祉関係団体・NPOや市民活動団体を取りまとめて、地域福祉を推進するための連携と協働の体制を作っていくかが、はっきりしていないように思う。	1	第6章「1 推進体制の確立」の中で触れていますが、基本理念実現のため、地域で活動している町会・自治会、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、ボランティア、NPO、事業者等が各分野での主体となる方々が中心となって行政と協働していくことが重要なネットワークだと考えています。 (計画書p.100)	なし

No.	意見の趣旨	件数	市の考え方	(案)の修正
10	「いきいき安心プランⅣ まつど」の「地域包括ケア体制」の構想において、市はリーダーシップを取って、この事業を実現するために市民と協働してして推進していくことを切に願っている。 「地域包括支援センターを中心とした地域包括ケア体制」の構築は、基本計画の中でも最も重要な事業であると考えている。	1	「地域包括支援センターを中心とした地域包括ケア体制」の構築は重要な事業として認識していますので、現在策定中の「第7期松戸市高齢者保健福祉計画・第6期松戸市介護保険事業計画(いきいき安心プランⅤまつど)」の中で具体的な検討をしております。	なし
11	地域福祉で最も重要な課題は、「在宅医療・看護の充実と在宅介護の連携とその強化」であると思っている。 「医療・看護・介護が連携したケア体制」の構築を市が医師会と連携していくことは、地域高齢者の切なる願いであると同時に市民全体の願いでもある。	1	市が積極的に、多職種協働による在宅医療支援体制、また、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築していくことは重要であると認識しております。現在策定中の「第7期松戸市高齢者保健福祉計画・第6期松戸市介護保険事業計画(いきいき安心プランⅤまつど)」の中で具体的な検討をしております。	なし
12	市の各部署からそれぞれの「計画」が策定されているが、共通事業については関係部署間で定期的な協議を行い計画を推進する必要性を感じている。 また、市医師会と市社協とも地域医療、地域福祉に関するそれぞれ計画について定期的に会議を開き、連携・協働して計画を推進して行くことを期待している。	1	計画の推進及び進捗管理では、定期的に関連事業・取り組みを実施している関係部署に進捗状況、課題、今後の方向性について把握し、市医師会、市社会福祉協議会それぞれの代表の方、また関係部署の職員等で構成された推進委員会にて報告し、さらに連携・協働して計画の推進に努めていきたいと考えています。	なし
13	計画の進捗管理は重要なことであり、これがないと計画は「お題目」になってしまい、計画の責任所在もあいまいになってしまうため、実行していただきたい。	1		
14	その他の行政計画に「教育」とあるが教育関係で計画策定しているのか。	1	教育関係の計画は策定はしておらず、「教育」とは教育委員会で作成している「教育施策方針」を意味していることから、「その他の行政計画など(まちづくり・教育・男女共同参画など)」と修正しました。 (計画書p.11)	あり
15	本計画書において「ひとり親世帯」、「単身者」についての記載がないように思いますが、それぞれどのように記載されているのか教えていただきたい。	1	ひとり親世帯については、「基本目標2 自立と参加の促進」「基本目標3 支えあひともに生きるまちづくり」で、子ども子育て支援を強化していく中で、その他の課題と共に、さらなる充実を図り、推進していくことをうたっています。 単身者については、基本目標3「3 地域での支え合い活動の推進～孤立させない地域づくり～《声かけ・見守りの推進》」の中で、単身世帯で孤立した生活等が要因で発生している孤独死や虐待の現状について、地域による声かけ・見守り等の体制を構築していくことが望まれるとしています。 (計画書p.55,71,76)	なし
16	日常生活において外出機会を助長するような取り組み云々をバリアフリーの部分でもう少し記載してほしい。	1	基本目標1「1 障壁のないまちづくり」、基本目標2「5 障害者の自立した地域生活の支援」、基本目標4「1 心のバリアフリー」の中で触れていますが、安全で安心して外出しやすい環境を整えるために、段差の解消や手助けしてくれる支援者等の必要性、また地域の行事やイベントにおいてもすべての人が参加しやすいような配慮、呼びかけがなされているか検証していくとしています。 (計画書p.34,67,90)	なし
17	資源一覧の人的資源では、男女別にした方がよい。	1	ご意見を踏まえ、人的資源の「市政協力委員、民生委員・児童委員、健康推進員、食生活改善推進員、クリンクル推進員、防犯指導員、青少年相談員」について、男女別で記載しました。 (計画書p.104)	あり
18	なぜ地域福祉が大事なのか、担当者からのメッセージを余白ページに記載してはいかがか。	1	担当者のメッセージは、本計画の推進委員会を代表して、委員長より計画の策定(重点項目・推進項目等)についてや計画を通して地域への願い等が計画書内の前段に「第2次松戸市地域福祉計画によせて」としてお示ししています。 また、計画見直し専門部会の委員の方々から計画に込めた願いをメッセージとして掲載しました。 (計画書p.170)	あり
19	表紙のイラストについて、男性が赤ちゃんを抱いているイラストも載せた方がよい。	1	ご意見を踏まえ、裏表紙に掲載しました。	あり